

# はじめての市民活動



講師：NPO法人市民社会研究所 代表理事 松井 真理子

そもそも市民活動とはどういうものなのでしょうか？ 市民活動には何が必要なのでしょうか？ 2022年3月になやプラザで開催した初心者向け講座「はじめての市民活動」から、その一部をご紹介します。

## 市民活動と市民性

「社会のために」と自ら動き出す気持ちが市民活動のはじまりです。市民活動は困っている当事者だけでなく、その困難を自分事のように思える（＝共感する）人の存在が重要です。

### その課題を抱える当事者自身

「解決すべきだ」と共感する人

- 個人で動く人
- 既存の団体に参加する人
- 団体を立ち上げる人
- 寄付する人 etc.

## 社会を変える市民の力

市民活動では市民が公共サービスの担い手となります。当事者自身の力を引き出したり、行政に変革を呼びかけたり……企業でも行政でもなく市民自身が社会を変える力を発揮するのです。

【図】サービスの担い手とそれぞれの立ち位置



## 市民活動と対価

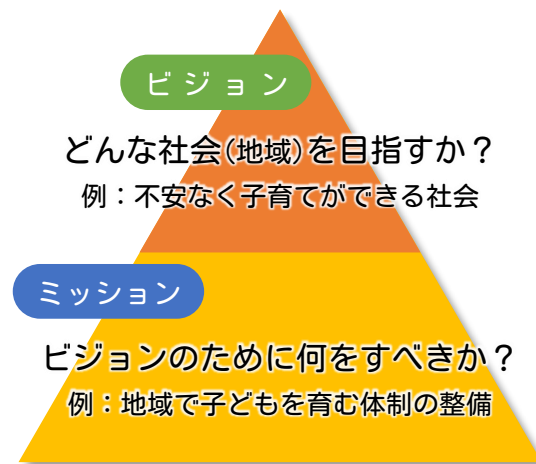
市民活動はお金儲けを目的としない活動ですが、活動を継続するための資金は必要です。最近では市民活動にビジネスの手法を取り入れる考え方（＝ソーシャルビジネス）も普及しています。



住民が主体となって運営する路線バス「生活バスよっかいち」は、地域住民からの運賃のほか、企業の協賛や市の補助を得て活動しています（NPO法人生活バス四日市）

## 目指す姿を可視化する

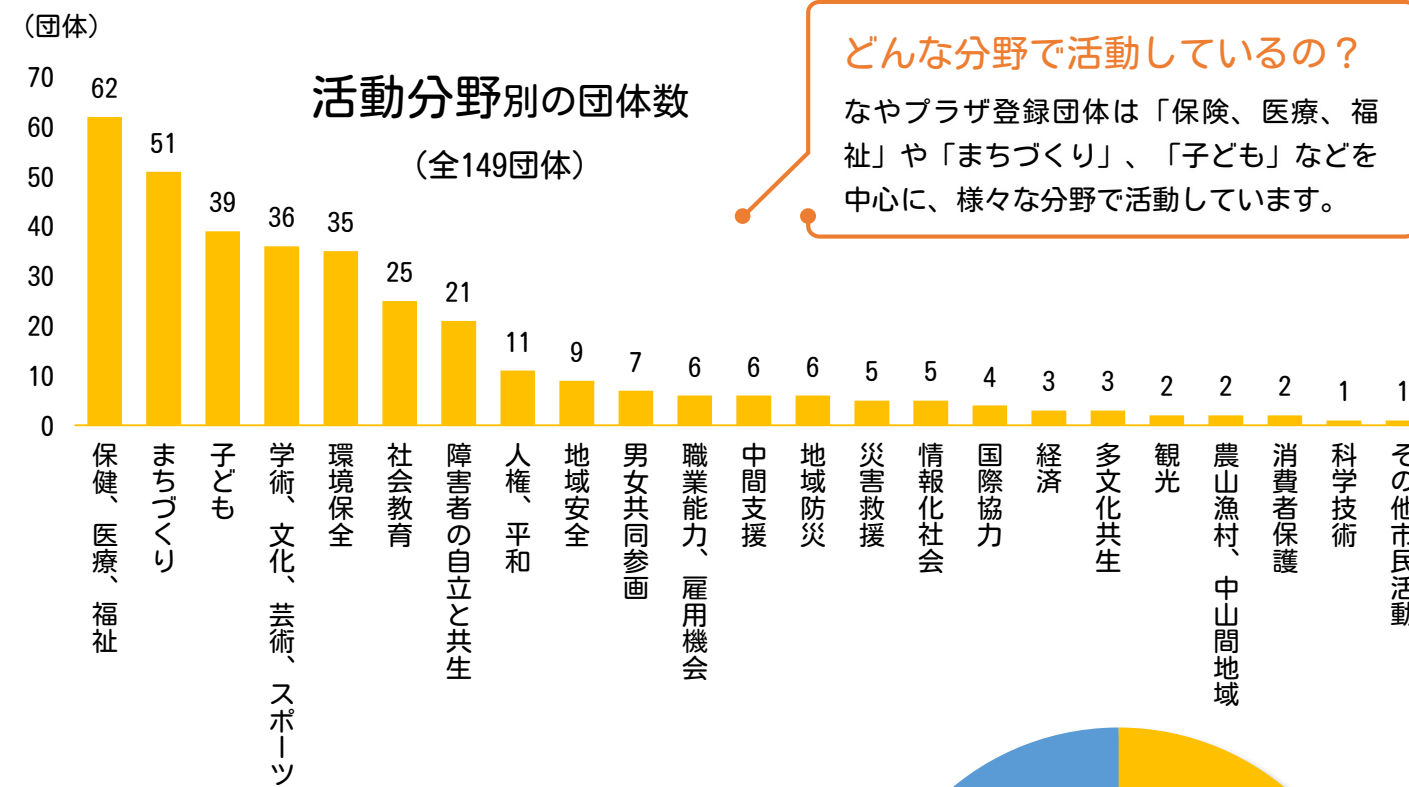
団体運営で最も重要なのは「ビジョン」「ミッション」を明確にすることです。活動への想いを内部で共有、そして外部に共感してもらうために「何を指すのか？」を文章にします。



## なやプラザ登録団体からみた市民活動のようす



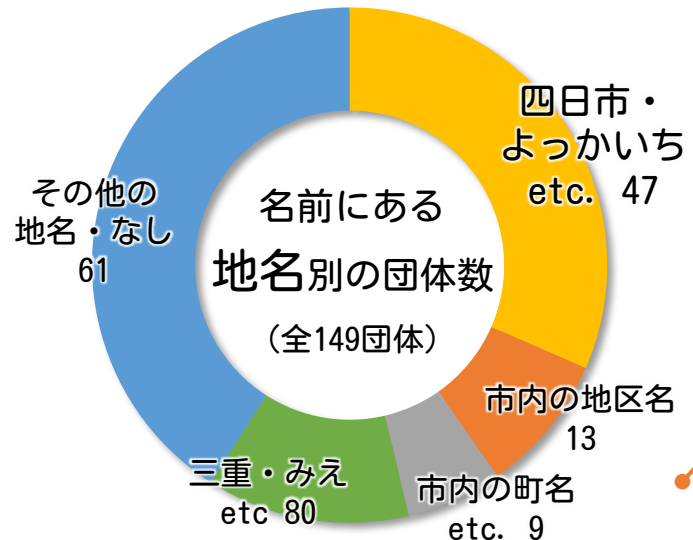
なやプラザに団体情報を登録している149の団体\*について、そのデータを集計し、四日市市の市民活動の「いま」を調べました。 ※2019年度～2022年度において活動の継続が確認された団体



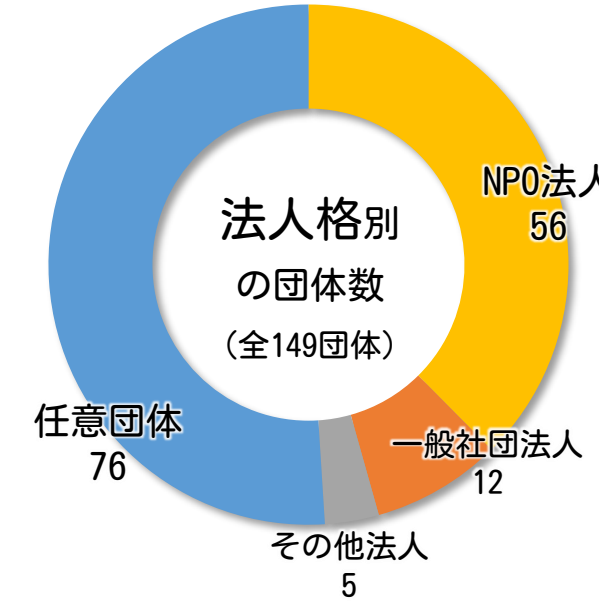
どんな分野で活動しているの？  
なやプラザ登録団体は「保険、医療、福祉」や「まちづくり」、「子ども」などを中心に、様々な分野で活動しています。

## どんな形で運営しているの？

法人格を持たない団体（任意団体）が圧倒的に多く、法人格を持つ団体ではNPO法人として活動する団体が多くあります。



どこで活動しているの？  
団体名にどんな地名がついているか調べたところ、全体の3割以上に「四日市」や「よっかいち」などの言葉がっていました。また地区名や町名のついた団体もありました。



一人ひとり、地域を構成するすべての主体が協働・連携してまちづくりを進めるために

## 第2次 四日市市市民協働促進計画

2021年度～2025年度

市民協働とは「市民主権の理念のもと、市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市等が連携し、それぞれの持つ特性を活かしてまちづくりに取り組むこと」をいいます。

四日市市では、総合的かつ計画的な市民協働の促進を目的とした計画として、2021年度から「第2次四日市市市民協働促進計画」を開始しました。市民協働を促進していくための基本方針を次の4つに整理し、それぞれの主体との連携・協働により具体的な取組を展開します。

